

H28年度 活動報告

○平成28年4月17日 市原市認知症対策連絡協議会 第4回総会
(参加者58名)

特別講演 「認知症と生きるということ」

講師:メディカルクリニック柿の木坂院長 岩田誠様

一般講演 「私の介護体験～高次脳機能障害から認知症となった夫」

講師:公益社団法人認知症の人と家族の会千葉県支部 阿部洋子様
(参加者170名)

○平成28年 7月28日 第10回例会 (参加者64名)

・ミニ講演会 「消費者生活センターの役割について」

講師:市原市消費生活センター所長 内山浩史様

・プロジェクト間の交流会

・分科会(プロジェクトに分かれて検討)

・全体会(プロジェクトの進行状況について報告)

○平成28年10月20日 第11回例会 （参加者50名）

・ミニ講演会 「小域福祉ネットワークの取り組みについて」

講師：市原市社会福祉協議会 福田 潤様 塩野谷夏基様

・特別養護老人ホーム萬緑苑施設長小出氏より ふれあい買い物ツアーについて

・小沢会長より 市民参加の市認協について

・事務局安田氏より プロジェクト予算申請について

・分科会(プロジェクトに分かれて検討)

・全体会(プロジェクトの進行状況について報告)

○平成29年 1月26日 第12回例会 （参加者56名）

・ミニ講演会 「高齢者の運転免許更新について」

講師：千葉県警本部 千葉運転免許センター長補佐 安井博文様

・分科会(プロジェクトに分かれて検討)

・全体会(プロジェクトの進行状況について報告)

○平成28年12月25日

AM)市認協カフェ

PM)多職種協働研修

【講演1】「高齢者の薬物療法 ～認知症の視点から

ポリファーマシーについて学ぶ～」

講師:東京大学大学院医学系研究科教授 秋下 雅弘 様

【講演2】「薬剤師による服薬支援について」

講師:市原市薬剤師会 小室 裕保 様

○役員会

28/6/1 ・ 28/8/9 ・ 28/9/26 ・ 28/12/19 ・ 29/3/24 (5回開会)

○市認協ニュース

28/7月 ・ 28/10月 ・ 29/1月 (3回発行)


会計報告・監査報告について

平成28年度・市原市認知症対策連絡協議会・会計報告

年	月	日	概要	収入	支出	残高
28	4	1				72,814
	4	17	講演者用飲み物		432	72,382
	4	17	総会・講演会寄付	12,856		85,238
	6	14	ホームページ利用料		6,264	78,974
	8	17	銀行利息	5		78,979
	2	15	銀行利息	5		78,984


上記のとおり会計報告いたします

平成29年4月16日
会計

山越篤史 

上記のとおり相違ありません

平成29年4月16日
会計監査

細川清史 

市原市認知症対策連絡協議会 役員(案)

会長:	小沢 義典	千葉労災病院
副会長:	小出 貢二	市原市医師会、こいで脳神経外科クリニック
	細川 清史	ファーコスだいした薬局
事務局長:	岩本 明子	千葉労災病院
会計:	山越 篤史	やさしい手京葉
幹事:	亀山 美紀	市原市役所 保健福祉課 地域包括ケア推進室
	菊池 信子	市原市地域包括支援センター・たつみ
	木村 美咲	市原鶴岡病院
	木村 みどり	千葉労災病院
	高地 優二	中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット
	佐藤 潤	白金整形外科病院
	峰島 洋平	恵ケアセンター市原
	安田 清	千葉労災病院
監査:	飯吉 裕樹	介護老人保健施設なんな苑

多分野連携プロジェクト

《平成28年度活動報告》

目標: 1) 研修会を通じ、顔が見える支援者作りを目指す。

ちいき会、かさね研修、市認協など、定期参加。

2) 多職種連携を進めるのにあたり、到達目標を定める。

① 専門職向け、一般向けの相談窓口一覧表を作成する。

② 多分野連携を行った事例集を作成する。

《平成29年度活動計画》

1) 研修会の積極的参加。

2) 専門職向けの相談窓口の一覧表・事例集の作成を目指す。

若年性認知症対策プロジェクト

H28年度の活動報告

前頭側頭型認知症のうち【進行性失語】の方の交流会を
認知症カフェかさねにて開催

2016年 7月16日(土)12名
11月 5日(土)12名
2017年 3月25日(土)15名

病気やコミュニケーション方法、
日常についての情報交換を行う

H29年度の活動予定

- 1)引き続き**交流会の開催**
- 2)ご本人を含め交流の場の第1歩として5月14日(日)
農業センターにてバーベキューを開催！
- 3)9月3日(日)YOUホールにて『介護者の会はなみずき』主催
市原市役所共催による『**若年性認知症フォーラム**』を開催！
詳細は現在検討中！！

認知症サポーターの活動推進 プロジェクト

認知症サポーターの知名度を上げ、サポーターの養成を推進するとともに、サポーターが認知症の人への支援を、具体的な活動につなげるための方法を検討しています。

平成28年度の活動報告

- ・いちほら認知症あんしんフェアにて寸劇、数字パズルなどを開催。
- ・ロバ隊長の裁縫などボランティアにて作成。

今後の活動計画・予定

- ・公民館事業や老人クラブからの依頼が増え、参加者の多くは中高年代。サポーターを市全体に広げるため若い年代へ集団的に行っていく、平成30年度から小中学校で展開していく予定。
- ・認知症サポーター養成講座修了者への支援。ステップアップ講座や簡単に活動できるボランティア活動の開拓。

在宅介護者を支えるマニュアル 作成プロジェクト

《平成28年度活動報告》

- 「未来設計図」エンディングノートの試作品完成
認知症などで判断できなくなった時に、家族等に自分の生活様式や考え、持ち物などを伝える事ができるよう、また、自分が他界した時に家族等に感謝の思いを伝えられるよう工夫した。
- エンディングノート作成時の注意点などを書いたパンフレット作製

《平成29年度活動計画》

- 一般の方に配布し意見を伺い、「未来設計図」の完成品を作り、市認協ホームページに掲載し周知していく。

認知症スクリーニングプロジェクト

『H28年度の活動報告』

認知症スクリーニングチェックシートを作成。

辰巳地区敬老会 健康ブースでの活用。(H28. 9. 28)

いちほら認知症あんしんフェア 認知症スクリーニングブースでの
Cadi2用いての簡易認知症スクリーニング検査の施行。(H29. 4. 16)

『H29年度の活動予定』

本プロジェクトはH28年度をもって終了。

「認知症検診」に関しては、既存のソフトを使用し、公共機関へ設置
するなど、パソコン及び家電支援隊プロジェクトに取り込んで
頂く事で合意済み。

服薬支援ネットワークプロジェクト

- 目的:在宅にて正しい服薬の実現

薬剤師の在宅訪問普及

医師、介護職への情報提供

かかりつけ薬局・薬剤師の啓蒙

オレンジシートの活用

多剤投与の改善

『H28年度の活動報告』

医師多職種に向け薬剤師の在宅訪問の講演(2回/年)

地域包括支援センターへ薬剤師の出前講座(4回/年)

地域包括支援センターによるお薬手帳・薬剤アンケートの実施

認知症多職種協働研修(28年12月25日)に協力

小室氏が在宅患者訪問薬剤管理指導に関する講演

東京大学大学院医学系研究科教授 秋下 雅弘先生講演

「高齢者の薬物療法 ～認知症の視点からポリファーマシーについて学ぶ～」

『H29年度の活動予定』

地域包括支援センターによる服薬アンケートの実施

かかりつけ薬局・薬剤師の啓蒙

在宅訪問の普及活動と他職種との情報提供、交流

送迎プロジェクト

《平成28年度活動報告》

- 各地域における取組・問題点を話し合った結果、認知症予防の観点から外出・通院の支援の可能性を探查しました。
- 取り組みの一つとして、市社会福祉協議会と市内特別養護老人ホームとの協働で「買い物ツアー」が始まっている。
- 現段階で姉崎地区・市津地区・辰巳地区で4つの社会福祉法人が地域貢献事業として取り組み始めているので、今後この動きがさらに広がることを期待したい。

《平成29年度活動計画》

- 上記の「買い物ツアー」の広がりを期待するとともに、「通院支援」に関しても現状の問題点や可能性を探りたい。
- また、福祉有償運送や有償ボランティア等についてもその可能性について探りたいと思います。

パソコン及び家電支援隊 プロジェクト

《平成28年度活動報告》

- 介護者居酒屋への参加を奇数月の第2土曜日に行った。
今年度の開催数は合計6回である。
活動の様子は平成28年9月7日読売新聞千葉版や平成29年3月4日
シティライフに掲載された。
参加者からは認知症を抱える家族は皆同様の悩みを抱えているという
連帯感が生まれている。

《平成29年度活動計画》

- 今年度も同様の活動を行います。
一番近い開催日は5月13日です。
- また、他のプロジェクトとの連携もより積極的に図ります。

新規プロジェクト検討プロジェクト

《平成28年度活動報告》

- 介護者居酒屋（パソコン家電支援隊プロジェクトと共同）
平成28年3月より、奇数月の第二土曜日、午後六時から辰巳台の石狩にて開催中。
毎回、来店やスカイプなどで認知症の当事者や介護者、ボランティア、専門職などが集まり、和やかな話し合いがもたれている。

《平成29年度活動計画》

- 物忘れ対処法マニュアル制作。現存のものの内容を検討し、改訂を行う。
物忘れ対処教室のボランティア講師の育成の時にその教科書としてマニュアルを使用する。

フェスタプロジェクト

《平成28年度活動報告》

- 市認協を市民に知ってもらい地域に溶け込むことを目的に10月に発足。
- 4月の総会後にイベントを開催出来るよう準備、活動した。12月25日プレとして他職種協働研修の前に「市認協カフェ」を開催。

《平成29年度活動計画》

- 4月16日午後「いちはら認知症あんしんフェア」を開催予定。各プロジェクトにブースを設け発表をして頂く。今後の活動については、フェア開催後継続するか否かを含め、検討していく予定とする。